

# TEAM MITANI

2014FIM 世界選手権トライアル R-2

STIHL 日本グランプリ 参戦報告書

「MOTEGI 世界戦 自己最高 6 位獲得！！」

2014 世界選手権 出場ライダー紹介

(出場車両:HRC RTL260F ベース MITANInew300)

## ●ワールド

小川友幸(37 歳) 2007 年 2010 年 2013 年全日本チャンピオン バイク:MONTESAファクトリーNEWマシン

柴田 暁(25 歳) 2013 年IAスーパー6 位 バイク:KOBETUNE MITANI300(ロングストローク)

日時:2014 年 4 月 26 日 27 日

会場:ツインリンク MOTEGI

天候: 1 日目晴天時々雷雨 2 日目晴天

気温:25 度 観客数 5000 人

(WTC R-2 結果)

<ワールド PRO クラス>

DAY1

13 位小川友幸 17 位柴田暁

DAY2

☆6 位☆小川友幸 17 位柴田暁

(NOSTOP ルール 2 年目の世界戦！！)

昨年からのノーストップルールは今年 2014 年も採用されました。2 年目の MOTEGI は昨年よりあきらかに難易度の高いセクションが準備されていました。昨年までの出場ライダーの怪我での欠場が目立っていた。しかし若いライダーの出場が多く新世代の TOP ライダー出現が近年中に訪れそうだ！！今回から GATTI と TEAM MITANI のバナーを作りました。今後全日本でも使えるサイズとなっています。



(ワールド PRO 柴田暁選手)

2日間共 17 位。いつもの柴田選手といった感じ、本人は「思ったより走れなかった」とのコメント。ルールも難度も全日本とは極端に違う。戸惑う部分も大きいとは思うが対応力が問われる。結局 5 点を簡単に取ってしまうあたり、課題は同じだ。なんとかして 3 点でも OUT して減点をまとめて成績を出そうという心掛けが必要なのだが、そういう部分がまったくないので 5 点の山になってしまう。理想の勝とうとするトライアルだけではなく、トライアルは何が必要なのか？ 減点を減らせる方法を追求すべき、いきなり背伸びしてクリーンを理想としても最終的に安定したトライアルはできないのだから、まずは自分が最低限「できること」を「やれること」を考えて戦ってほしいところだ。そうしないといつまでも同じことを繰り返すだけです。



(ワールド PRO 小川友幸選手)

☆世界選手権 MOTEGI day2 で 6 位を獲得する活躍☆

1996 年に自己最高位 4 位を獲得している。あれから 18 年も経つというのに 6 位を獲得する活躍だ！！1 日目が 13 位だっただけに世界のレベルが進んだのか？たしかに新しく若いライダー層も出現して来ているから、調子が悪いとこのくらいのポジションになってしまいます。

Day2 で 6 位！！驚きだ！！凄い！！出場者最年長！！世界チャンピオンを獲得している RIDER ですら 20 代後半から 30 代前半で引退している。ここまで息が長く活躍するライダーは今までいなかったと思う。体力、持久力は若いライダーに比べて、きついはずなのだが 12sec × 3lap 走りきってこの成績、半端なく体力、集中力が続かないと到底とれない。日本で世界レベルを維持し続ける素晴らしいライダーの一人なのだ。



(総括)

小川選手が初日をおわったとき反省していた！！「クリーンを狙いすぎると、5点を簡単にとってしまうのがノーストップルール、クリーンできるセクションでも1点でも2点でも3点でも5点をとらないように走りきる心掛けが必要。」と語っていた。「Day2 有言実行だった。」このように冷静に分析して自分のもっているトライアルの能力を出し切ろうとする意識が小川選手を6位に導いたのではないかと思いますね。



GATTI TEAM

次回は5月11日全日本九州大会 下関です。世界戦の勢いをさらに加速させて挑んでほしいと思いますね。楽しみです。

TEAM MITANI 三谷知明